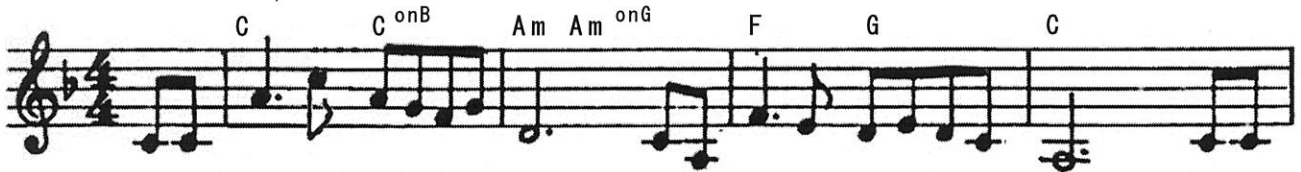


임진강

原詩：朴世永（パク・セヨン） 作曲：高宗漢（コ・ジョンハン）

* 楽譜Key=F 記載伴奏ギターフォーム=C
* 田月仙(チョン・ウォルソン)の歌唱を参考に楽譜を一部変更



イムジンガン マルゲンムルン フルロ フルロ ネーリー ゴ ムル
임진강 맑은 물 은 흘러 흘러 내 리 고 물
イムジン河 みずきよ く とうとうと なーがー る みず



セドウル チャユロー イ ノムナ ドウル ミヨ ナルゴン マン ネー
새 들 자유로 히 넘나 들 며 날 건 만 내
どりじゆうー に むら が り とびかう よ わが



コーヒャン ナムチョク タン カグ ポド モッカー ニ イム
고 향 남 쪽 땅 가 구 보 도 못 가 니 임
そこく みなみの ち おも いー は はー るー か イム



ジンガン フールー マ ウオナン シッ コ フ ルヌ ニャ
진 강 흐 름 아 워 난 신 고 흐 르 느 냐
ジンかわ みずきよ く とうとうと なが る

- | | |
|---|---|
| <p>1.
リムジンの 清き水 とうとうと 流れ行く
水鳥 自由に 羽ばたき 飛び交うに
祖国(ふるさと) 分かつ河 行き交うこと ままならぬ
リムジン 河の流れは 恨を乗せ 流るるか
リムジン 河の流れは 憧れ乗せ 流るるか</p> | <p>2.
河向こうの 葦原で 悲しげに鳥が鳴く
乾ききった 野の原に 草の根 掘るばかり
稲穂が波打ち踊り 祖国(ふるさと) 潤わす時
リムジン 河の流れよ 恨を解いて おくれ
リムジン 河の流れよ 苦しみ解いて おくれ</p> |
|---|---|

「イムジン河」
訳詞: 松山猛

イムジン河 水清く とうとうと流る
水鳥 自由にむらがり 飛び交うよ
我が祖国 南の地 想いははるか
イムジン河 水清く とうとうと流る

北の大地から 南の空へ
飛び行く鳥よ 自由の使者よ
誰が祖国を 二つに分けてしまったの
誰が祖国を 分けてしまったの

イムジン河 空遠く 虹よかかってくれ
河よ 想いを伝えておくれ
ふるさとを いつまでも忘れはしない
イムジン河 水清く とうとうと流る

「リムジン江(臨津江)」
訳詞: 李錦玉

リムジンガン水清く 静かに流れゆき
鳥は河を 自由に飛び交うよ
南のふるさとへ なぜに帰れぬ
リムジンの流れよ こたえておくれ

水鳥かなしく 南の岸でなき
荒れた畑に むなしく風たつ
幸せの花咲く 祖国の北のうた
リムジンの流れよ こたえておくれ

「イムジン江」
訳詞: 李錦玉 補作: 新井英一

イムジン江水清く 静かに流れゆき
鳥は河を 自由に飛び交うよ
ふるさとの人たちは 達者でいるだろうか
イムジンの流れよ 答えておくれ

水鳥美しく 静かな岸で鳴き
山の畑に やさしく風が吹く
幸せの花が咲く ふるさとの唄
イムジンの流れよ 伝えておくれ

「リムジン江(臨津江)」
翻訳: 世良妙湖

イムジンガンの 澄んだ水は
流れ流れて 下り
水鳥たちは 自由に行き来して
飛んで行くにもかかわらず
わたしの故郷 南の地
行きたくても 行けないから
イムジンガンの 流れよ
恨みを載せて
流れるのが

河を越えた 葦原では
鳥だけが 悲しげに 鳴き
乾ききった野では 草の根を
掘っているにもかかわらず
協同農場の 稲穂の海は
波打つように踊っているから
イムジンガンの 流れを
引き裂こうとしても
引き裂けないだろう